

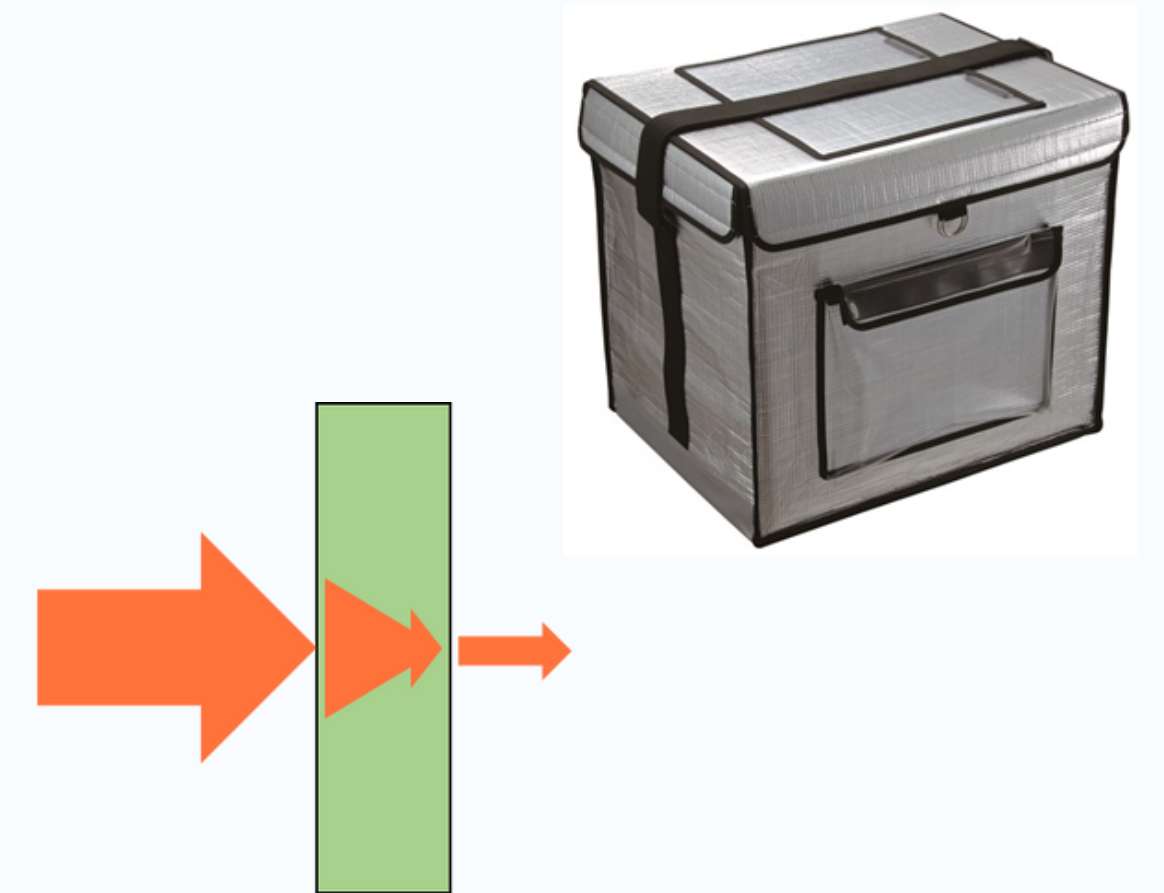
# 断熱と遮熱

断熱材と遮熱材、何が違うのでしょうか？

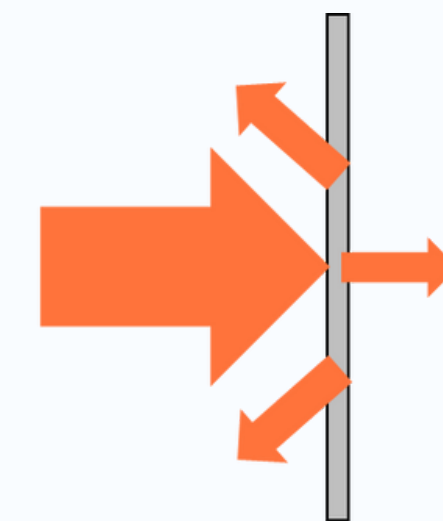
断熱材は、熱の伝わり方を遅らせて侵入する熱の量を抑えてくれるものです。保冷ボックスには必要不可欠の重要な材料です。ただし、熱エネルギーが消滅するわけではなく、断熱材の中に熱が溜まっていきます。特に、輻射熱は苦手。

例えば、直射日光で干した後のホカホカに温まった布団が、熱をため込んだ断熱材の状況です。ですので、保冷ボックスを炎天下に長時間置いてしまうとなんだか保冷時間が短くなってしまった、ということが起こります。

そこで活躍してくれるのが遮熱材。遮熱材は、「輻射熱」を反射する材料で、身近な材料ではアルミ箔がよい遮熱材になります。例えば、スギヤマゲンのBioBox PLUSは見た目が銀色。外側にアルミ蒸着フィルムを使っているからです。



断熱材:熱の伝わり方を遅くするもの



遮熱材:輻射熱を反射するもの